

【講座名】

2024年度 信州大学 大学院 総合理工学研究科
STAMP講座：経営者から学ぶ技術経営

【授業計画】 2024年5月～2024年7月（8回）

第1回 「社会課題が生む新たな事業」

講師 都築浩一（元）(株)日立製作所インフラシステム社 CTO

要旨 我々が直面している地球規模の社会課題は、科学技術の急速な発展と併せて新たな事業機会を生む。その事例として幾つかのスタートアップを取り上げて考察する。

第2回 「大型・複合・国際化するプロジェクトにおいてプロジェクトリーダーに要求される資質は何か」

講師 野呂一幸（元）大成建設(株) 常務役員 設計本部長

要旨 日本企業が海外で展開する多くの事業・プロジェクトは大型・複合・国際化している。本事例は、大成建設で数多くのプロジェクトで経験したことを紹介し、プロジェクトの問題点、課題を見抜き、プロジェクトリーダーに要求される資質は何かについて焦点をあてた内容である。

第3回 「2050年カーボンニュートラルに向けたエネルギー戦略と技術開発」

講師 水本伸子（元）(株)IHI 取締役常務執行役員

要旨 2050年CNに向けて、エネルギー需給構造の変化による、産業界、経済社会全体の大変革を、技術の立場で考える。

第4回 「Big Data時代のAIの一考察」

講師 森田隆士（元）(株)日立システムパワーサービス 代表取締役社長

要旨 「IT企業家と云うより、DT企業家と言われたい」とよく耳にするようになったが、その内容を語り共に考察したい。

第5回 「『富士山型』の研究開発について（チーフエンジニアの視点から）」

講師 加藤光久（元）トヨタ自動車(株) 代表取締役副社長

（元）(株)豊田中央研究所代表取締役会長

要旨 日本の研究力低下が著しく、損なわれつつある日本の国際競争力を取り戻したい。そのために目指すべき姿を、自動車の開発を参考に提言する。

第6回 「事業経営の現場」

講師 中村房芳（元）(株)IHI 代表取締役副社長

要旨 経営とは会社という組織をリードして目的を達成するもの。それを具現するのが経営の現場。そこでどのように組織をリードしてゆくか？ いわゆるリーダーシップ論ではなく、経営者の機能に鑑みてどのようなことを考えて実行してゆかねばならないか考察してゆく。

第7回 「国際宇宙ステーション計画に学ぶ難局打破での経営・マネジメント」

講師 山浦雄一 (元) 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 理事・執行役

要旨 「不可能」と言われながらも苦難を乗り越え実現した国際宇宙ステーション(ISS)計画を題材に、難局打破の総合力、プロジェクト成功の要諦、未踏への挑戦の意義を共に考える。

第8回 「企業における研究開発の役割と新製品開発の施策」

講師 三木一克 (元) (株)日立メデイク 代表取締役社長

要旨 企業研究所を取り巻く環境が変化している中で、21世紀の企業研究所に求められる役割について述べる。具体例として、日立の全社研究所の役割と研究開発事例、新製品開発の施策、技術経営の実践経験について紹介する。